

上野精養軒・懇親会開催

東靴協会では、多くの会員の方に参加いただく目的で、初めての試みとして、10月15日(火)正午より上野精養軒で懇親会を開催いたしました。

上野公園を抜け会場に向かいましたが、インバンドと思われる外国人の方々の多さに驚かされました。



参加者25名が精養軒二階の会場に着席し、定刻に事務局の清水氏の司会で開会した。初めに木内副会長より、「協会ではいろいろな新しい取り組みを考えています。事務局の3階への移転もその一つです。またレクリエーションは例年ですと日帰りバス旅行を

行っていました。今回はこの懇親会として開催いたしました。今回の懇親会では皆様方の声をお聞きし何か今後のヒントとなるお話も聞かせていただきたいと思います。と開会の挨拶を行った。



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252)5656
(11月号)



始めに「マジシャンけん」によるマジックでスタートしました。このマジックは「クロスアップマジック」と言い、観客の至近距離で行うマジックだそうです。テーブルの前に椅子を並べ近いところからマジックを楽しんだ。トランプやコインなどでのマジックを目の前で見学した。マジックだからタネはあるのだろうが、まるで分からず見事な手さばきで驚くばかりだった。彼は、このマジックをセールの場に活かさないかと「心理誘導」を駆使したセールス術などのセミナーも行っているそうだ。

続いて栗原会長より「お楽

しみただけでしたか、今の時代は大きく変化しています。30年前のバブルの頃は、協会の会員も1000社ありましたが、現在は100社を割り込んでおります。先日イタリヤ・ミカムの展示会へ行ってきました。今回は以前と比較して全体に多くの方が出ておりました。日本人のバイヤーも多くみられ、靴業界以外からも来ているようでした。輸入靴も関税が年々下がりが、かつて20%掛かっていたものが現在では8%に、あと4年でなくなりそうです。そして誰でも輸入できる時代になっていきます。そこで、フィッティングなど基本を大事に武器としてお客様一人一人に対応して行くことが重要です。若い方々にはますます研究し、協会をさらに盛り上げて行ってほしいと思います」と挨拶をした。

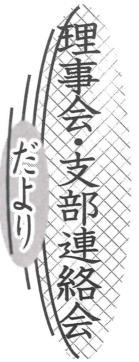


次に乾杯に移り、矢代健二副会長が「本日の会は例年のバス旅行に代わり、この席を設けました。協会も変革の時代です。今後の運営も皆様の

ご協力が無ければ、考えられません。では今後の協会の発展と、皆様のご健勝を祈念して乾杯します」と話し盃を挙げた。



各テーブルに料理が運ばれ宴席がスタートした。更に「マジシャンけん」が各テーブル毎にマジックを披露するなど、宴席は盛り上がった。最後に木内副会長より「本日の会が業界の発展につながってほしい」と願っています。協会としても今後皆様のお役に立つよう進めてまいります。皆様のご理解、ご支援もよろしくお願いいたします」とお礼の挨拶で懇親会は終了した。



令和六年十月二十四日(木) 午後二時 西村記念ホール

出席者12名

司会の矢代副会長より理事会の開始を告げ、栗原会長が「昨日皮革産業連合会の会議があり、その席で、経産省では外国人の方に対して技能実習制度があります問題もあり、9年度から新しい制度を考えているようです。外国人労働者を含め、今後の人口減少社会に、どう取り組むかを真剣に考えていかなければならないと感じました。また、関税もここ数年低くなり輸入製品が入りやすくなりました。今後0%になります。世の中が大きく変化しています。協会を始めとしてどう対応していくかを考えていかなければならないでしょう」と挨拶を行い、引き続き議事に移った。

一、上期の事業・会計報告について

初めに事務局の清水氏より半期の事業の説明を配布資料に基づき説明、続いて松戸専務理事が会計報告を、資料を読み上げ説明した。場内に諮り異議なく承認された。

二、上野精養軒懇親会について
木内副会長より説明。10月15日に上野精養軒で25名が参加し開催した。懇親会は盛況の中無事に終了した。今回はマジシャンの方をお呼びし評判が良かった、と報告した。

(一面参照)

三、三階フロアへ移転について
続いて木内副会長より説明。現在業者の選定を行っていません。4社から見積もりが届いていますが、金額等検討して決めています、と話した。

四、「靴まつり」の応募結果と
お買物券の扱いについて

松戸専務理事より説明。応募総数などの説明を詳細に行い、抽選会の協力の要請を行った。(下記別項参照)

五、2025年親和会について

松戸専務理事より2025年の親和会は2月18日・19日に箱根河鹿荘で開催します。奮ってご参加ください、と説明した。

六、2025年「靴の記念日」
応募葉書について

松戸専務より来年3月に行われる靴の記念日について、応募葉書は100枚づつ配布いたしますが、追加希望の店舗は一枚30円、100枚単位で販売いたしますので事務局までご連絡ください、と説明した。

七、その他

今後の各委員会の日程等報告し、理事会は終了した。

2024年「靴まつり」抽選会開催

10月24日の理事会終了後、応募葉書の抽選会を開催した。今回より協会の専門店・大型店は一緒になったため、日本靴小売商連盟と協会の2つの抽選箱に入れ、それぞれ割り振り枚数の葉書を各理事が選び出す方法で合計300枚の抽選を行った。今回の応募葉書の総数は3748通、日本靴小売商連盟が1557通、東靴協会の2469通となった。昨年は総数3760通だった。スタートした平成28年との推移を下記の表にした。抽選は、当選者数300名を応募数で按分し、小売商連盟からは125名、東靴協会が175名を、それぞれの抽選箱から、選び出した。当選者には、発行店で利用できる5千円のお買物券を発送する。



靴まつり・応募数推移

Table showing application trends from H28 to R6, including categories like Association Large Store, Association Special Store, and Small Retailer Alliance.

東京都中小企業景況調査(9月)
業況: 2か月連続で下向き見通し: やや悪化

Table for Wholesale Business (卸売業) showing survey results for October, including response rates and sentiment.

Table for Small Retail Business (小売業) showing survey results for October, including response rates and sentiment.

Table showing sales performance for Choda (チヨダ), ABC Mart, and G Futt for August, September, and October.

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移
日曜日が一日少ない影響はあったが、PB「バイオフィッター」から、手を使わずに履ける「スパット機能」を搭載した商品が好調。(チヨダ)
シーズンは気温の高い日が続く、降雨も多い月だったが、好調に推移した。ハンズフリー商品やキッズスニーカーが好調だった。(ABCマート)
秋の行楽需要でアウトドア関連は好調だったが、気温の高い日が多く季節商品が鈍かった。(ジフット)